



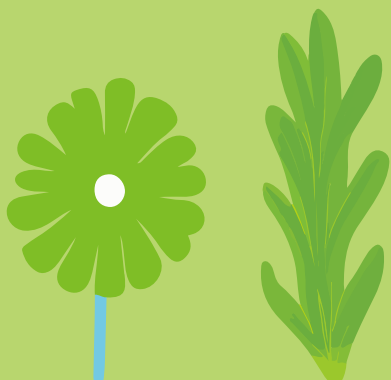
Sapporo Environmental Education

地球環境のことを考え、やるべきことを自ら判断し、積極的に取り組む

札幌市の環境教育・ 環境学習ガイド

令和5年度

これからもずっと安心して暮らしていくために



環境教育・環境学習とは…

未来やみんなのことを考え、みんながずっと安心して暮らしていける持続可能な社会を目指して、積極的に考え、取り組む人を育むための教育・学習です。

環境を守り、よりよい環境を次世代へ引き継ぐため、 札幌市では環境教育・環境学習を進めています。

環境問題を取り巻く状況は日々変化し、環境教育・環境学習の重要性が高まっています。
札幌市では、「次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市「環境首都SAPPORO」と
「誰一人取り残さない」持続可能な社会」の実現のために「みらいを想い、みんなを思い、
真剣に考え行動できる環境市民を育てます」を基本理念に掲げ、環境教育・環境学習を進めています。

札幌市環境教育・環境学習基本方針

基本理念

みらいを想い、みんなを思い、
真剣に考え行動できる環境市民を育てます

目指す将来像

- 1 市民が「持続可能な都市とは何か」について理解している
- 2 市民が札幌の環境の良さを実感し、自ら環境を改善する行動を選択し、
周囲の人たちの行動にも良い影響を与えている
- 3 環境配慮行動を認識するための場、考える機会が十分に提供されている

環境教育・環境学習が 対象とする分野

- 1 健康で安全な生活環境の確保に関すること
- 2 低炭素社会の実現に関すること
- 3 循環型社会の実現に関すること
- 4 自然共生社会の実現に関すること

札幌市が主体となって 環境教育・環境学習を 推進するための取組

- 1 学校などの教育機関等で行われる
環境教育の推進
- 2 「環境人材」の育成
- 3 環境教育・環境学習の場と機会の充実
- 4 普及啓発のための情報の発信・
広報と行動の後押し

札幌市環境局が行う環境教育・環境学習の主な取組

環境をテーマに副教材を作成し、札幌市内の小学校に配布します

札幌市環境副教材

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/material/index.html



市内の小学生向けに、札幌市環境副教材・教師用手引書を作成しています。毎年改訂を行い、札幌市内の小学校(新1・3・5年生)へ配布し、各校で活用されています。

1・2年生用「ちきゅうとなかよくしてる?」



- 1 たのしい学校
- 2 きせつをたのしもう
- 3 かぞくといっしょに



3・4年生用「地球にやさしくしてる?」



- 1 わたしたちのくらしと生き物
- 2 わたしたちのくらしとごみ
- 3 わたしたちのくらしと水
- 4 わたしたちのくらしと雪



5・6年生用「地球のためにできること」



- 1 地球の環境
- 2 身の回りの環境
- 3 自由研究



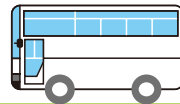
● 教師用手引書

学校における指導の手引きとして、教師用手引書も作成しています。



環境関連施設見学のバスを学校に無料で貸し出します

校外学習用バスの貸出



https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/bus-rent/index.html

校外学習用バスの貸出は、平成19年度(2007年度)から市立の小中学校を対象に実施している事業です。環境関連施設の見学用バスを無料で貸し出し、環境教育推進のため、市内の清掃工場やごみ処理施設、上下水道などに関する学習を支援しています。

また、ホームページでは校外学習の参考となるモデルコースを紹介しています。

令和4年度(2022年度)バス利用校の紹介(一部)

●札幌市水道記念館、藻岩浄水場の見学(札幌市立東園小学校)

事前に学校の授業を通して学習し、さらに知りたいこと、調べたいことをみつけて、実際に施設を見学した。見学学習後、学んだこと・調べたことをまとめ、発表会を行った。子どもたちの調べたい・考えたいがたくさん生まれ、課題解決的な学習ができた。

事前に学習してから見学することにより、子どもたちの知りたい!調べたい!が膨らみ、主体的に課題解決しようしたり、よりよい社会を考え社会生活に生かそうとする態度が育った。



●札幌市北方自然教育園の見学(札幌市立篠路小学校)

6月に行った篠路五ノ戸の森、9月に行った滝野の森とを比較することで、札幌市の自然の特徴に気づき、それらを大切にしようとする思いが高まった。実際に自然にふれ、普段なかなかみることのできない生き物を観察することで、自然や生き物に関心を持ち、生命の大切さやつながりについて学ぶことができた。



インターネットを活用した環境教育への支援制度です

環境教育へのクリック募金

<https://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/bokin/index.html>



環境教育へのクリック募金制度は、環境保全活動に取り組む企業から募った寄附を原資に、市内の小中学校に環境教育教材を寄贈する、企業の社会貢献活動です。これまでに寄贈した環境教育教材は、「手回し発電機」、「気体検知管」など、エネルギー、自然環境に関するものです。

<参加企業7社(令和5年8月現在)>

1 **バナーをクリック**

募金の仕組み

2

あなたの代わりに参加企業が募金(1クリックにつき5円)を行います。

表示される参加企業のバナーをクリックしてください。費用は一切かかりません。

※参加企業各社の寄附上限金額は、月2万円としています。

環境に関する研修会講師と自然観察会の講師を派遣します

環境保全アドバイザー・環境教育リーダー制度

<https://www.kankyo.sl-plaza.jp/service/>



環境保全アドバイザー・環境教育リーダー制度は、市内の団体・グループの方々が主催する環境保全や環境に関する研修会や自然観察会に講師や解説員を無料で派遣する制度です。

環境保全アドバイザー

「環境全般」、「都市と環境」、「消費生活と環境」、「水辺の環境」、「自然観察・自然保護」、「外国の環境保全」、「環境教育」の7つの分野の専門家を、「環境保全アドバイザー」として無料で派遣しています。対象は、地球環境、自然保護、リサイクル、ごみ問題などをテーマとした研修会や学習会などです。

環境教育リーダー

植物、野鳥、昆虫、水生生物などの自然観察や、温暖化、ごみ、エコライフ分野の指導、解説者を「環境教育リーダー」として無料で派遣しています。



派遣申込先

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ2F 札幌市環境プラザ TEL011-728-1667 FAX011-728-1400

札幌市内の小中学生が取り組む環境活動の発表会を開催しています

さっぽろこども環境コンテスト

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/contest/index.html



日頃、小中学生が環境のために取り組んでいる活動を発表する場として「さっぽろこども環境コンテスト」を開催しています。活動発表を通して、周囲の子どもたちのみならず、大人たちにも活動の輪を広げていくことを目的として開催しています。このコンテストは、環境に関するさまざまな取組が発表されるほか、当日はステージイベントもあり、参加者は楽しみながら環境について学ぶことができます。また、優秀な取組を行った団体には表彰しています。

令和4年度(2022年度)は新型コロナウイルス感染症対策のため、これまでのステージ発表にかえ、札幌市環境プラザを本部とし、各発表団体の会場をリモート(Zoom)でつなぎ、本部の司会進行のもと、オンライン形式で参加7団体が発表しました。



●ステージ発表(令和元年度)



●発表の様子(令和4年度)



子どもたちが家庭のエコリーダーに!!

夏休み・冬休みエコライフレポート

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/ecolifereport/ecolifereport.html



夏休み・冬休みエコライフレポートは、子どもたちが、家庭におけるエコ活動の声掛け役となり、エコ活動を意識し、継続して実践することを目的に、平成19年度(2007年度)から、全市立小中学生を対象に実施している取組です。

令和4年度(2022年度)は、節水や地産地消のほか、小学4年生以上には自らエコにつながると思う行動を考えて実践してみる欄も設けました。

●エコライフレポート



子どもたちが地球環境について考えるワークショップです

環境教育・子どもワークショップ

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/sdgsworkshop/2022_workshop.html



未来を担う子どもたちが、地球環境を意識して生活する心を育み、自発的な行動を起こすためのきっかけづくりとして、市内の児童会館等に通う小学生を対象に、各児童会館等をオンラインでつなぎ子どもたちが対話しながら、意見交換を行う、ワークショップを開催しています。

令和4年度(2022年度)は、62名の小学生が参加し、地球で今起きている気候変動と未来予測、自分たちができる行動に加えて、令和5年4月にG7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合が開催されることを踏まえ、「世界のリーダーに聞いてみたいこと」をテーマに実施しました。

また、環境教育に興味がある若者を募り、運営スタッフとして参加してもらいました。



札幌市環境プラザ

<https://www.kankyo.sl-plaza.jp/>



環境プラザは、さまざまな展示物や事業を通じて、環境について学ぶことができるとともに、環境保全活動に取り組む団体に活動場所や教材の貸出など支援を行う札幌市における環境活動の拠点施設です。

学ぶ

環境問題について知ることができる展示とその解説を行っているほか、環境問題につながるさまざまな事業を行っています。



■ 環境プラザ展示コーナー



■ 子ども向け事業(さっぽろあそエコ団)



■ 施設見学ツアー(アクティビティ)



■ 大人向け講座

- 幼児向け事業
- 環境相談
- 出前事業(アウトリーチ)

つなぐ

人や情報をつなぎ、人材育成や環境学習の機会や場を増やします



■ 講師派遣

- 特集展示
- 大学との連携

支える

活動場所や教材の提供、イベントの協力など、環境活動を行う団体を支援します



■ 環境活動団体のプログラム出展の場の提供

- 貸室(予約制)
- 教材貸出
- イベントなどの共催・協力
- こどもエコクラブ事務局業務

環境教育・環境学習の取組状況や効果を定期的に評価・検証します

札幌市環境教育・環境学習基本方針推進委員会

「札幌市環境教育・環境学習基本方針」に基づく取組を確実に推進し、施策の進捗状況や効果などについて定期的な評価・検証を行うため、学識経験者や教員、公募市民などからなる「札幌市環境教育・環境学習基本方針推進委員会」を設置しています。

「札幌市環境教育・環境学習基本方針推進委員会」の議事録等については、札幌市の環境教育ホームページでご覧いただけます。

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/committee/index.html



札幌市の環境教育・環境学習に関する取組一覧

P2～P5で紹介した環境局の取組以外にも、札幌市では環境教育・環境学習に関するさまざまな取組を行っています。(令和4年度実績)

※令和5年度における取組については、内容の変更や中止となっている場合がありますので、問合せ先まで御連絡ください。

分類	対象		取組名	内容	問合せ先 (電話番号)
	大人 (大学生以上)	子ども (高校生以下)			
学校などの教育機関等で行われる環境教育の推進					
学校等における自然体験学習、エコスクールなど		○	水生生物観察会の実施	水辺環境の保全と活用に関する啓発を目的に、水生生物等の自然観察会に環境教育リーダー及び市職員の派遣、水生生物調査ハンドブックの配布や調査用品の貸出等の支援を行っています。 [https://www.city.sapporo.jp/kankyo/mizu_kankyo/jigyuu/houhou/index.html]	環境局 環境対策課 211-2882
		○	小・中・高ヒグマ講座	ヒグマの生態やヒグマとの共生について、トランクキットを用いてわかりやすく説明しています。	環境局 環境共生担当課 211-2879
		○	稲積小学校3年生総合学習(手稲稲積公園)	近隣小学校の総合学習の場として園内花壇を提供し、植物特性と管理方法、植物残渣のリサイクルなどを説明後、子ども達と一緒に植栽することで、花育と緑化活動を実施しています。 [https://www.sapporo-park.or.jp/inazumi/]	建設局 みどりの管理課 211-2536
		○	さっぽろ学校給食フードリサイクル	学校給食の調理くずや食べ残しを利用した堆肥で育てた作物を全小中学校の給食に取り入れるという食物の循環の取組を実施しています。また、小中学校の「フードリサイクル堆肥活用校」(令和4年度は208校)で堆肥を活用した栽培活動等に取り組んでおり、児童生徒がこの取組を通じ、フードリサイクルの目的や地産地消、食べ物の大切さなどについて学んでいます。また、当該事業に係る関係部局、団体が共通理解を固め円滑な取組を行うことを目的とし「さっぽろ学校給食フードリサイクル」連絡会議を年2回開催しています。 [https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/kyushoku/recycle/foodrecycle.html]	教育委員会 保健給食課 211-3713
		○	札幌らしい特色ある学校教育推進事業	「環境首都・札幌」の宣言を契機に「さっぽろっ子環境ウィーク」を設定し、全ての市立園・学校が、エコスクール宣言校として、持続可能な社会の実現に向けて「環境」に関わる取組(エコアクション)を実施しております。この取組では、市立高等学校の生徒が作成した環境に関する動画を参考にしながら、子ども自身が自分でできることを考えて行動につなげていく活動等を通じて、子どもの環境を守り育てようとする態度を育てています。	教育委員会 教育課程担当課 211-3891
環境教育教材などの提供		○	小学校における札幌らしい交通環境学習推進事業	小学生のときから公共交通の重要性を認識し、かきこく使うことを効果的に学んでもらうために、市内小学3年生及び5年生を対象に公共交通を題材にした社会科学習資料の配布を行っています。また、教師が授業で取り上げやすいように指導書の配布やホームページでの授業で使える素材集の公開などを実施しています。 [https://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/gakusyuu.html]	まちづくり政策局 都市交通課 211-2492
		○	エコライフレポート	子どもたちが継続してエコ行動(節電や省エネ等)を意識し、実践してもらうため、家庭内でできる身近なエコ行動の取組チェック表の配布・活用により、子どもたちの環境保全に対する意識を高めています。 [https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/ecolifereport/ecolifereport.html]	環境局 環境政策課 211-2877
		○	札幌市環境副教材	札幌市内の小中学生を対象に、環境教育の推進を図ることを目的として「札幌市環境副教材」を作成し、札幌市内の小中学校(新1・3・5年生)へ配付しています。 [https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/material/index.html]	環境局 環境政策課 211-2877
		○	校外学習用バスの貸出	環境教育の推進のため、市立の小中学校を対象に、市内の清掃工場やごみ処理場、上下水道施設等環境関連施設見学用バスの無料貸出を行っています。 [https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/bus-rent/index.html]	環境局 環境政策課 211-2877
		○	環境教育へのフリック募金	環境保全活動に取り組む企業から寄附を募り、市内の小中学校へ環境教育に関する教材を寄贈しています。 [https://www.kankyo.sl-plaza.jp/bokin/]	環境局 環境政策課 211-2877
研修 教員向け	○		教員研修	学校における環境教育を実践する担い手を育成するため、専門的な研修講座を開講しているほか、「持続可能な社会の創り手」となる子どもを育成するため、SDGsに関する研修を実施しています。 [https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/soudan_kensyu.html]	教育委員会 教職員育成担当課 211-3802
「環境人材」の育成					
人材の育成 専門家派遣制度の活用、	○	○	環境教育リーダー・環境保全アドバイザー制度	講師派遣を通して、市民自ら環境活動を進められるよう、環境保全活動に係る取組を支援する制度です。 [https://www.kankyo.sl-plaza.jp/material/index.html]	環境局 環境政策課 211-2877
	○	○	気候変動・SDGsアクションLabo	年代や所属を超えた人々が協力・連携しながら、実際に企業・団体等が抱える課題や地域の社会課題に対して自分たちにできることを企画し、実践につなげることを目的とした連続プログラムを実施し、気候変動対策・SDGsの推進に向けて自ら行動できる実践者・担い手育成に取り組んでいます。 [https://www.city.sapporo.jp/kankyo/sdgs/workshop/actionlabo2022/index.html]	環境局 環境政策課 211-2877
	○		事業所向け省エネセミナー	市内事業者の皆様には様々な省エネ手法を知ってもらい、かつ継続的に実践してもらうために、省エネの専門員を招き、オンラインセミナーを開催しました。 [https://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/syouene_onlineseminar2021.html]	環境局 環境エネルギー課 211-2872
環境教育・環境学習の場と機会の充実					
環境関連施設の充実化	○	○	博物館活動センター体験学習会・ワークショップ	地史や植物など自然への興味・関心を持つきっかけづくりとして、札幌の自然やその成り立ちについて学ぶ体験学習会やワークショップを実施しています。 [https://www.city.sapporo.jp/museum/]	市民文化局 文化振興課 374-5002
	○	○	リサイクルプラザ・リユースプラザ運営事業	札幌市リサイクルプラザ及び札幌市リユースプラザについて、不用品の有効活用とごみ減量意識の向上・定着を図るための情報発信の施設として運営しています。リユース家具等の販売、ごみ減量に関する講座・教室やごみに関する相談受付、環境イベントの実施、リユース品の回収・提供なども行っています。 [http://www.sapporo530.or.jp/] [http://www.reuseplaza.jp/]	環境局 循環型社会推進課 211-2928
	○	○	環境プラザ運営事業	札幌市環境プラザにおいて、展示物を利用した環境教育の推進をはじめ、環境に関する講座や環境相談等を実施。また、市民の自主的な環境学習を支援するため「環境教育リーダー」や「環境保全アドバイザー」を派遣しています。 [https://www.kankyo.sl-plaza.jp/]	環境局 環境政策課 211-2877

分類	対象		取組名	内容	問合せ先 (電話番号)
	大人 (大学生以上)	子ども (高校生以下)			
環境教育・環境学習の場と機会の充実					
環境関連施設の充実化	○	○	円山動物園教育推進事業	動物園で飼育している動物や、園内にある次世代エネルギー施設に関する情報発信や学習プログラムの提供を園内外で行い、市民に動物の生息域で起こっている環境問題について知ってもらい、環境保全の重要性に関する市民の理解を推進しています。 【https://www.city.sapporo.jp/zoo/others/sougou.html】	環境局 保全・教育推進課 621-1427
	○	○	札幌の水辺の生物の飼育及びパネル展示(豊平川さけ科学館)	主に札幌市内に生息している多種の淡水魚、甲殻類、両生類等を水槽で飼育及びパネル展示し、場合によっては実際に触れる機会を設けて、それぞれの種を解説して普及啓発を図っています。 【https://salmon-museum.jp/】	建設局 みどりの管理課 211-2536
	○	○	外来生物の飼育及びパネル展示(豊平川さけ科学館)	外来生物を飼育及びパネル展示し、解説することにより、外来種が水辺の環境や在来生物にもたらす弊害の啓発を図っています。 【https://salmon-museum.jp/】	建設局 みどりの管理課 211-2536
	○	○	環境科学展	市内近郊の企業や団体の環境への取組事例を紹介するイベントを実施しています。 【https://www.ssc.slp.or.jp/】	教育委員会 生涯学習推進課 211-3871
連携推進	○	○	いきものつながりオンラインクイズラリー	生物多様性活動拠点ネットワーク施設のホームページを巡り、参加者に生物多様性や各施設における環境保全の取組を学んでもらうオンラインクイズラリーを行っています。 【https://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/network.html】	環境局 環境共生担当課 211-2879
普及啓発イベント・情報発信	○	○	リサイクル工場親子見学バスツアー	リサイクルの必要性に対する市民の理解を深めることにより、不法投棄や不適正処理等を抑制し適切な再資源化の推進に繋げることを目的として、北海道経済産業局環境・リサイクル課と共催で、年1回、小学生(4~6年生)とその保護者30名程度を対象にリサイクル工場見学のバスツアーを開催しています。 【https://www.hkd.meti.go.jp/hokni/20220214/index.htm】	環境局 循環型社会推進課 211-2912
	○	○	燃料電池自動車(FCV)イベント展示	FCVや水素エネルギーに対する理解促進を図るため、市内各種イベントにて、公用車FCVの展示、パネルやチラシを用いたFCVや水素エネルギーの説明、FCVの外部給電機能を活用した電源供給のデモンストレーションを行っています。 【https://www.city.sapporo.jp/kankyo/zidouasya_kankyo/fcv_events.html】	環境局 環境政策課 211-2877
	○	○	環境広場さっぽろ	事業者や市民団体、行政機関などが、持続可能な社会の実現に向けた環境保全の取組・活動について発信し、未来を担う子どもたちに豊かな地球環境を次世代に引き継ぐことの大切さを伝えるとともに、来場者に役立つ情報に触れてもらうことで環境保全の行動を促すことを目的とした総合環境イベントです。 【https://www.city.sapporo.jp/kankyo/hiroba/index.html】	環境局 環境政策課 211-2877
	○	○	ヒグマパネル展	ヒグマの生態やヒグマに出遭わないための対策等を正しく理解し、ヒグマ対策の意識醸成を図ることを目的として、ヒグマパネル展を実施しています。 【https://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/events/jouhou/r5.html】	環境局 環境共生担当課 211-2879
	○	○	種の保存推進事業	絶滅危惧種の域内外での保全、個体群保全の機能強化を図り、国内、特に北海道に生息する希少動物(オオワシ、コウモリ、ニホンザリガニ等)の保護に係る調査研究を実施するとともに、一般市民との共同調査、観察会や講演会などを実施し、環境保全に関する普及啓発を行っています。 【https://www.city.sapporo.jp/zoo/info/keikaku/documents/3-3sho.pdf】	環境局 保全・教育推進課 621-1427
	○	○	「知る・見る・カニさん、ザリガニさん」(豊平川さけ科学館)	札幌の川に生息している在来種の「モクズガニ」の生態と、札幌市内で見られる外来のザリガニ(ウチダザリガニやアメリカザリガニなど)についての悪影響を解説し、生き物に触れながら学ぶ、普及啓発を図っています。 【https://salmon-museum.jp/】	建設局 みどりの管理課 211-2536
	○	○	さかなウォッチングの実施(豊平川さけ科学館)	真駒内川・琴似発寒川・星置川において、たも網を使用して、淡水魚等の水辺の生物を捕獲し、それぞれの種・生態・河川環境等を解説し、普及啓発を図っている。参加者を募集する際は応募型とし、また、学校等の申込によるさかなウォッチングも可能な限り対応しています。 【https://salmon-museum.jp/】	建設局 みどりの管理課 211-2536
	○	○	緑の絵コンクール	(公財)札幌市公園緑化協会との共催による事業であり、緑化の普及・啓発を目的とし、毎年6月から9月頃にかけて札幌市内の小中学生から緑をテーマとした絵画を募集する緑の絵コンクールを開催しています。 【https://www.sapporo-park.or.jp/kikin/?cat=16】	建設局 みどりの活用担当課 211-2522
	○	○	百合が原公園における植物リサイクルの情報発信	ホームページやリーフレットで、公園内での植物残渣のリサイクルの取組の情報を発信しています。 【https://yuri-park.jp/】	建設局 みどりの管理課 211-2536
	○	○	百合が原公園での生物多様性の取組と市民緑化の推進	特定外来植物オオハングソウの侵入軽減のため園内での監視と駆除を実施しています。 【https://yuri-park.jp/】	建設局 みどりの管理課 211-2536
	○	○	月寒川にぎわい川まつり	子どもや地域住民への地域の自然や環境について考える機会の提供とともに、環境に配慮したまちづくりに主体的に取り組むきっかけとしています。 【https://www.city.sapporo.jp/shiroishi/machi/furusatokai/kawamatsuri/index.html】	白石区 地域振興課 861-2422
	○	○	西区SDGs普及啓発事業	日々の暮らしの中でSDGsを意識するきっかけづくりとして「西区SDGsフォトコンテスト」を開催しているほか、SDGsの理解を深めることを目的に区内の企業と連携して親子向けのワークショップ等を実施しています。 【https://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/sdgs02.html】	西区 地域振興課 641-6926